

能登半島地震・被災者支援プログラムの報告（第12回）

東京都・TVAC・CS-Tokyo

■日程：2024年7月10日（水）～7月13日（土）

■ボランティア参加者数：13名

■サロン実施場所および被災者の参加者数

日時	サロン実施場所	被災者の参加者数
7月11日（木）	穴水町諸橋地区 諸橋仮設団地	13名
7月11日（木）	穴水町甲地区 兜公民館	29名
7月11日（木）	穴水町中居地区 住吉公民館	26名
7月11日（木）	輪島市町野地区 金蔵集会所	15名
7月12日（金）	穴水町志ヶ浦地区 志ヶ浦コミュニティセンター	20名
7月12日（金）	輪島市門前地区 禅の里交流館	56名
7月12日（金）	輪島市門前地区 皆月多目的集会所	28名
7月12日（金）	輪島市門前地区 浦上公民館	29名

■被災者の声（主なもの）

- ・この1週間、家族以外と話さなかった。家にこもりきりになってしまうから毎週サロンは出かけるきっかけになる。ここに来るのが楽しみ。若い人の顔が見えるのがうれしい。
- ・今日地震があって心臓がバクバクしてお昼が食べられなかった。だからサロンにホットケーキ食べにきた。
- ・震災前にあった洋品店が撤退してしまい、服が買えないから自分で作ろうと思っている。
- ・明治時代からの自宅を解体することになった。先祖代々の家だから解体はしたくないが仕方がない。
- ・地盤沈下によって海面が上がり冠水がひどい。天気が良い日も長靴を履いている。
- ・震災前に比べてお店が少なくなった。土曜日に大型スーパーが再開するから楽しみ。オープンの日は混むだろうね。
- ・祖父母名義のままの家が被災したため、名義変更の手続きが必要で解体が進まない。被災に関する手続きが大変すぎる。緊急時なのに…。今後の見通しが立たない。
- ・田んぼの用水路が壊れて修理していた。なんとか田植えには間に合った。この辺はコシヒカリとノトヒカリを作っている。震災で納屋が壊れて、機械が潰された家も多い。
- ・まだ水が止まったままなので、水のめどが立ったら家を建て替える予定。
- ・家の修理を業者に頼むと高いので、自分でやれるところは自分で修理している。申請のために見積もりを依頼しているが、大工さんも忙しくて全然見積もりがこない。
- ・船が震災で流れてしまった。主人はまた漁に行きたいようだが、行ってほしくない。

■ボランティアの所感（主なもの）

- ・年齢の話になり、自分（ボランティア）と同年の男性がいた。お互い頑張ろう！と話し合った。
- ・来月、完成した仮設住宅に新たに入居される方がいるのでサロンに参加しやすいような工夫が必要。
- ・高齢者が多い地域なので、このサロン活動が高齢者の見守りや体調把握の機会にもなっているようだ。

